



このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書とICレコーダー（本体）の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保存し、必要などきにお読みください。

- ・本書ではICレコーダー専用ソフトウェア「Voice Editor 2」の基本的な使いかたを説明しています。各メニューの内容や詳しい説明についてはオンラインヘルプもご覧ください。
- ・Windowsの基本操作やコンピューター、周辺機器の取り扱いについては、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

# もくじ

## お使いになる前に

必要なシステム構成	3
こんなことができます	4
SD_VOICEフォルダの構造	5
フォルダとファイルの構造	6
音声ファイル一覧の表示	7

## すぐ使う

起動と終了	8
・ Voice Editor 2を起動する	8
・ 起動直後に使うドライブを決める	9
・ 終了する	9
音声ファイルを再生する	10
・ リピート再生する	12
・ A - Bリピート再生する	13
バックアップとリストア	14
・ 音声ファイルの保存と追加の概要	14
・ パソコンに音声ファイルを保存する	15
・ バックアップ	18
・ リストア	20
ICレコーダーやSDメモリーカードに 音声ファイルを追加する	21

## さらに使いこなす

音声ファイルやフォルダの編集	23
・ 音声ファイルを移動する	23
・ 音声ファイルやサブフォルダを 削除する	24
・ 新しいサブフォルダを作る	25
・ 音声ファイルをソートする	25
・ 音声ファイルやサブフォルダの タイトルを変更する	26
・ 音声ファイルを分割する	28
・ ファイルロック機能	29
インデックス機能	30
・ インデックス機能を使う	31
音声認識ソフト	32
・ 音声認識ソフトとの連携	32
・ トレーニング	32
・ 音声ファイルのテキスト変換	34

## 必要なときに

メイン画面各部の名称とはたらき	35
故障かな!?!と思ったら	40
エラーメッセージ一覧	41
本ソフトウェアに関するお問い合わせ先	41
アンインストールする	42
表示設定	43
・ 漢字表示とカナ表示	43

# 必要なシステム構成

Voice Editor 2をお使い頂くためには、以下のような性能を満たしたIBM PC/ATまたはその互換機が必要です。

( NEC PC-98シリーズ及びその互換機での動作は保証しません。また、Macintosh®では動作しません。)

- OS (日本語版) : Microsoft® Windows® 98 / 98SE、Windows® 2000、Windows®Me、Windows® XP(Home Edition / Professional)
  - ・ Windows® 3.1/95、Windows NT®では動作しません。
  - ・ Windows® 3.1/95 および Windows NT® からWindows® 98/98SE、Windows®Me、Windows® 2000、Windows® XPへのアップグレード環境での動作は保証しません。
- システム構成
  - ・ ポート : USB (USBハブおよびUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証しません)
  - ・ CPU : Pentium® 266 MHz 以上 ( Windows® XP : Pentium®II 333MHz以上)
  - ・ メインメモリー : 64 MB 以上 ( Windows® XP : 128 MB以上)
  - ・ ハードディスク : 20MB 以上の空き容量 (音声データにより別途空き容量が必要です)
  - ・ CD-ROMドライブ : (インストールに必要)
  - ・ サウンドボード : Creative® Sound Blaster®16互換
  - ・ ディスプレイ : 16 bit Color以上(推奨) 800 × 480ドット以上の解像度
  - ・ オーディオ機器 : Panasonic ICレコーダー

推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。



# こんなことができます

Voice Editor 2を使って、ICレコーダーやSDメモリーカードに記録した音声ファイルをパソコンに取り込み、音声ファイルの管理、再生などを行うことができます。

## **A** ICレコーダー、SDメモリーカードに録音した音声ファイルをパソコンに保存する

ICレコーダー、SDメモリーカードに録音した音声ファイルを、音声ファイル単位、サブフォルダ単位で、SD\_VOICEフォルダごとハードディスクなどに保存します。保存形式は、Panasonic独自のVM1ファイルまたは、WAVEファイル(8/16ビット)から選択できます。

## **B** パソコン上で音声ファイルを編集する

ICレコーダー、SDメモリーカードに録音された音声ファイル(VM1)を、パソコン上で順番を変えたり、削除したりできるほか、音声ファイルやサブフォルダのタイトルの変更、音声ファイルのソート(並び替え)、新しいサブフォルダの作成などの編集ができます。

## **C** パソコン上で音声ファイルを再生する

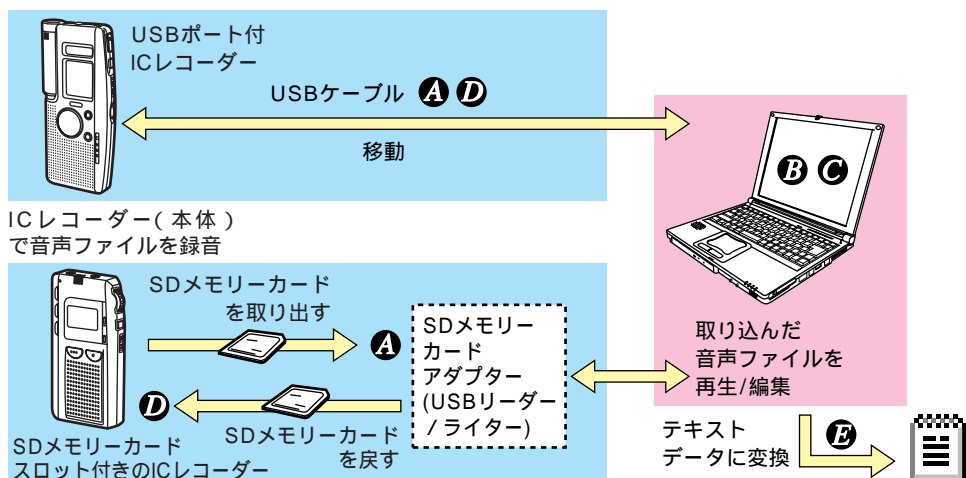
ICレコーダー、SDメモリーカードまたは、ハードディスクに保存された音声ファイル(VM1ファイルのみ)をパソコン上のVoice Editor 2を使って再生することができます。

## **D** パソコンに保存した音声ファイルを、ICレコーダー、SDメモリーカードに追加、ICレコーダーで再生する

パソコンに保存した音声ファイルを音声ファイル単位、フォルダ単位で、ICレコーダー、SDメモリーカードに戻し再生することができます。

## **E** 音声認識ソフトとの連携

ドラゴンスピーチ・セレクト バージョン 6.0以上をインストールしている場合、音声ファイルを文字に変換することができます。

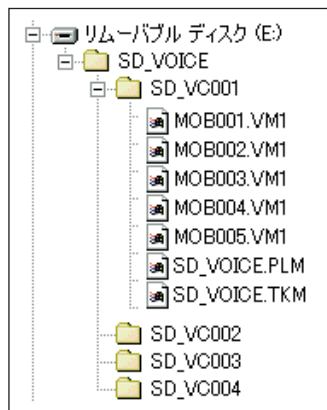


# SD\_VOICEフォルダの構造

パソコンのハードディスク上やSDメモリーカード内は、以下のようなフォルダ構造になっています。

SD\_VOICEフォルダ内には、初期設定で「SD\_VC001」、「SD\_VC002」、「SD\_VC003」、「SD\_VC004」という4つのサブフォルダがあります。各サブフォルダには管理ファイルと音声ファイルが保存されています。また、お客様が任意のサブフォルダを作成することができます。

- ・フォルダ数 : 1から9まで
- ・音声ファイル数 : 01から99まで



## お知らせ

- ・これらのフォルダおよびファイルはすべて隠しファイルの属性設定になっています。
- ・メモリー内蔵のICレコーダーについては、4個の固定フォルダになっています。

# フォルダとファイルの構造

## 音声ファイルの形式

Voice Editor 2では、次の形式の音声ファイルを扱うことができます。ただし、再生、編集できるのはVM1ファイルだけです。

### ■ VM1ファイル形式

- ・ICレコーダーで録音される音声データ。
- ・録音モードはHQ、LP、SPの3種類です。  
(各音声ファイルのモードは音声ファイル一覧表示部で表示されます。)
- ・VM1ファイルは音声データを圧縮した状態のファイルなので、長時間の録音データも比較的少ない容量で保存できます。

ファイル名は MOBxxx.VM1 です。(xxxは001から099までの番号)

ファイル名.拡張子

### ■ WAVEファイル形式

- ・パソコンの一般的なアプリケーションでの録音に使用されるPCM8/11/16/22kHz、8/16ビットモノラル形式の音声ファイル形式。
- ・Voice Editor 2でVM1ファイルに変換できます。

(変換できるのはPCM8/11/16/22kHz、8/16ビットモノラルのWAVファイルのみです。8kHzの場合は録音モードがSPのVM1ファイルに変換され、11/16/22kHzの場合はHQのVM1ファイルに変換されます)

ファイル名は FILENAME.WAV です。

ファイル名.拡張子

## サブフォルダの構造

サブフォルダには、サブフォルダの情報を管理するプレイリストマネージャーファイル(SD\_VOICE.PLM)、ファイル情報を管理するトラックマネージャーファイル(SD\_VOICE.TKM)が常に保存されます。SD\_VOICEフォルダ内にフォルダを追加、削除した場合、音声ファイルを編集、追加、削除した場合などは、これらの管理ファイルも合わせて更新、保存されます。

IC/SDレコーダーやVoice Editor 2で音声ファイルを管理するためには、ルートディレクトリー上に「SD\_VOICE」という名称のフォルダを配置してください。

サブフォルダに含まれるファイルは次の3種類です。

- ・MOBxxx.VM1：ICレコーダーで録音される音声データのファイル
- ・SD\_VOICE.PLM：サブフォルダの情報を管理するファイル
- ・SD\_VOICE.TKM：サブフォルダ内の全音声ファイルの情報を管理するファイル

# 音声ファイル一覧の表示

## 表示の手順

Voice Editor 2で再生、保存、編集などを行うためには、ICレコーダーやSDメモリーカード内の音声ファイルを音声一覧表示部に表示する必要があります。

ドライブボックスでICレコーダーまたはSDメモリーカードドライブを選択した後、サブフォルダを選択してください。

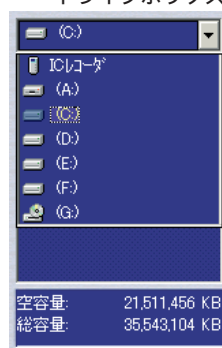
( SD\_VOICEフォルダの構造)

## ドライブの選択

Voice Editor 2のメイン画面左側にあるドライブボックスから、ICレコーダー、SDメモリーカードのドライブを選びます。

選択されたドライブのSD\_VOICEフォルダ内のサブフォルダがサブフォルダ表示一覧表示部に、表示されます。

ドライブボックス



### お知らせ

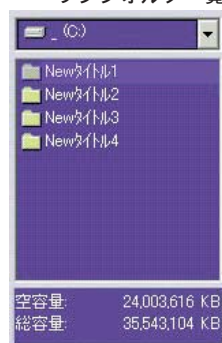
- ・ICレコーダー、SDメモリーカード、ハードディスクドライブのドライブ名は、パソコン環境や設定によって異なります。

## サブフォルダの選択

サブフォルダ一覧表示部に表示されたサブフォルダの中から一つをクリックして選択します。

選択したサブフォルダ内の音声ファイルが、音声ファイル一覧表示部に表示されます。

サブフォルダ一覧



# 起動と終了

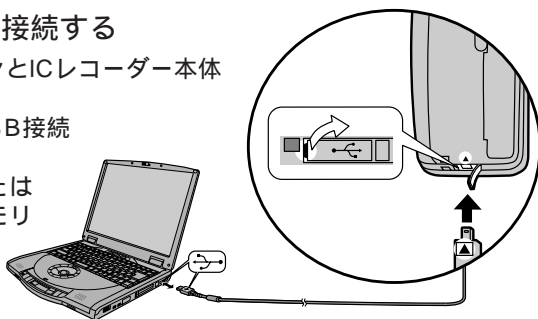
## Voice Editor 2を起動する

### 1 Windowsを起動する

### 2 ICレコーダーとパソコンを接続する

次のいずれかの方法で、パソコンとICレコーダー本体を接続します。

- ・ICレコーダーとパソコンをUSB接続ケーブルで接続する。
- ・USBリーダー/ライターまたはPCカードアダプターにSDメモリーカードを差込み、パソコンと接続する。



#### お知らせ

- ・Voice Editor 2においては、ICレコーダーやUSBリーダー/ライターはドライブとして認識されます。

### 3 デスクトップの Voice Editor 2 アイコンをダブルクリックする

Voice Editor 2が起動し、メイン画面が表示されます。

デスクトップにアイコンが表示されていない場合は「スタート」メニューで「プログラム」「Voice Editor 2」「Voice Editor 2」を順に選びます。



#### お知らせ

- ・Windowsの画面の設定が「大きいフォント」になっていると、メイン画面の表示が上の通りにならないことがあります。その場合は、設定を「小さいフォント」に変更することをおすすめします。

(操作の方法はWindowsの取扱説明書をご覧ください)



# 起動と終了

## 起動直後に使うドライブを決める

Voice Editor 2をインストール後、最初に起動した時に使うドライブを決めます。

### 1 起動直後、音声ファイルを保存するドライブを決める

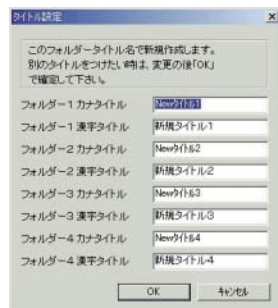
ドライブ選択ダイアログが開きます。

### 2 任意のドライブを選択する

・最初にフォルダが4個作成されます。(一つのドライブに最高9個まで)

### 3 フォルダタイトルを決める

・フォルダタイトルは、後でいつでも変更できます。  
・カナタイトル(半角)と漢字タイトル(全角)の2種類のタイトルをつけることができます。  
(  漢字表示と  カナ表示 )



#### お知らせ

・新しいSDメモリーカードを使うときなど、SD\_VOICEフォルダが含まれていないドライブを指定した時は「SD\_VOICEフォルダがありません。新規作成しますか?」と言うダイアログボックスが表示されます。

[はい]をクリックすると、SD\_VOICEフォルダの初期設定を行った後、メイン画面が表示されます。[いいえ]をクリックするとドライブ選択ダイアログボックスが表示されます。

## 終了する

以下のいずれかの方法で、Voice Editor 2を終了してください。

- ・画面右上の [ × ] を押す。
- ・「ファイル」メニューから「終了」を選ぶ。



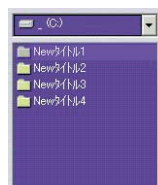
# 音声ファイルを再生する

## 音声ファイルを再生する

ICレコーダーやパソコンのハードディスクドライブに保存した音声ファイル（VM1ファイルのみ）をプレーヤー部で再生できます。再生音はパソコンのスピーカーでモニターできます。



- 1 ドライブを選択する
- 2 フォルダを選択する
- 3 再生する音声ファイルを選ぶ



- 4 (再生) をクリックする

選択した音声ファイルがプレーヤー部に表示され、すぐに再生が始まります。再生が開始すると、再生位置を示すスライダーつまみが左から右に移動し、終了すると元の位置に戻って停止します。

番号	ファイル名	録音時間	録音日時	ロック	ファイルサイズ	モード
01	ファイル01	00:00:08	2007/11/07 09:46		67,536	HQ
02	ファイル02	00:00:11	2007/11/07 09:46		89,904	HQ
03	ファイル03	00:00:20	2007/11/09 13:22		165,302	HQ
04	ファイル04	00:00:06	2007/11/07 09:47		27,948	SP
05	ファイル05	00:00:14	2007/11/07 09:53		24,060	LP
06	ファイル06	00:00:14	2007/11/07 09:53		24,060	LP
07	ファイル07	00:00:25	2007/11/12 11:00		212,992	HQ

### お知らせ

- ・エクスプローラーで、VM1ファイルをダブルクリックしても、ファイルは再生されません。

次ページへ続く▶▶

# 音声ファイルを再生する

## 様々な再生操作

操作ボタンを使って、次のような再生操作ができます。



- 再生を停止
- ▶ 再生
- ⏸ 一時停止 (もう一度クリックするか再生をクリックすると再び再生が始まります)
- ⏮ 前の音声ファイルを再生する。(または最初から)
- ⏭ 次の音声ファイルを再生する
- ⏪ 早戻し再生 (再生中にクリックし続けると再生しながら早戻しする、離すと通常の再生に戻る)
- ⏩ 早送り再生 (再生中にクリックし続けると再生しながら早送りする、離すと通常の再生に戻る)
- 🔄 リピート再生、A - Bリピート再生

**ボイスエフェクタ** **ボイスエフェクタ** : 聞きやすい音質にすることができます。ボイスエフェクタが選択されると、ボタンの右隣にコントローラが表示されます。コントローラの上下矢印を操作することにより、音質を10段階に調整することができます。

**お知らせ** 録音状態によっては効果のない場合があります。

- 🔇 音声ミュート (一時的に音を消す (再度クリックすると、音が出る))
- 音量を下げる
- + 音量を上げる


## 音声ファイルを再生する

---


### リピート再生する

1つの音声ファイルを繰り返し再生することができます。

**1** 再生するファイルを選択する

**2**  (リピート) をクリックする

リピート再生モードになり、再生スライダーの表示が白くなります。  
解除するにはもう一度クリックしてください。

**3**  (再生) をクリックする

 (停止) が押されるまで、繰り返し再生されます。






## 音声ファイルを再生する

### A - Bリピート再生する







指定した開始点Aと終了点Bの間をリピート再生できます。

Aを指定しなければ音声ファイルの先頭が開始点になり、  
Bを指定しなければ音声ファイルの最後が終了点になります。

### 再生しながら指定する

- 1 再生する音声ファイルを選択し、 (リピート) をクリックする  
リピート再生モードになり、再生スライダーの表示が白くなります。
- 2  (再生) をクリックする
- 3 リピート再生の開始点にしたい所で、 (A) をクリックする  
リピート再生の終了点にしたい所で、 (B) をクリックする  
・再生スライダーのA点、B点間だけが白く表示されます。  
・ (停止) が押されるまでA - B間が繰り返し再生されます。


### スライダーつまみを使って指定する

- 1 再生する音声ファイルを選択し、 (リピート) をクリックする
- 2 スライダーつまみを開始点までドラッグし、 (A) をクリックする
- 3 スライダーつまみを終了点までドラッグし、 (B) をクリックする  
・再生スライダーのA点、B点間だけが白く表示されます。
- 4  (再生) をクリックする  
・ (停止) が押されるまでA - B間が繰り返し再生されます。  
・ (リセット) を押すとA - B間の設定がリセットされ、通常のリピート再生に戻ります。

# バックアップとリストア

## 音声ファイルの保存と追加の概要

音声ファイルを、ICレコーダーやSDメモリーカードからハードディスクへ保存したり、ハードディスクからICレコーダーやSDメモリーカードに追加したりすることができます。音声ファイルとフォルダは一定の形式、名前、構造で保存されます。

( フォルダとファイルの構造)

- ICレコーダーやSDメモリーカードからハードディスクへの保存  
ICレコーダーやSDメモリーカード内の音声ファイルは、音声ファイル単位、サブフォルダ単位の音声ファイルを、VM1ファイル またはWAVEファイル形式を指定して保存することができます。
  - ・音声ファイル単位で保存する（ファイル転送）
  - ・サブフォルダ単位で保存する（ファイル転送）
  - ・VM1以外のファイル形式（WAVE形式）を指定して保存する（バックアップ）
  - ・通常使うサブフォルダ以外の場所に保存する（バックアップ）
  - ・バックアップ先からの音声ファイルの取り込み（リストア）
- ハードディスクから、ICレコーダーやSDメモリーカードへの追加  
Voice Editor 2で開いているICレコーダーやSDメモリーカードの音声ファイルに、ハードディスク上の音声ファイルを追加することができます。WAVEファイルもVM1ファイルに変換してICレコーダーやSDメモリーカードに追加できます。  
音声ファイルを追加したSDメモリーカードをSDメモリーカードスロット付きのICレコーダーに戻して再生することができます。
  - ・音声ファイル単位で追加する
  - ・サブフォルダ単位で追加する

# バックアップとリストア


## パソコンに音声ファイルを保存する

### 音声ファイル単位で保存する（ファイル転送）

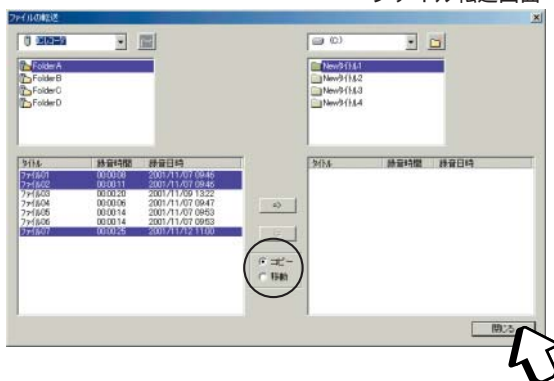
ICレコーダー、SDメモリーカード内の音声ファイル（VM1ファイル）は、1件ずつまたは複数選んでパソコンのハードディスクに保存することができます。逆方向にも保存できます。

複数のハードディスクドライブがある場合は、別のハードディスクドライブにも保存できます。



- 1 ICレコーダーやSDメモリーカードドライブを選ぶ
- 2 サブフォルダを開き、音声ファイル一覧を表示する
- 3 一覧表示部に表示されている音声ファイルから、パソコンのハードディスクに保存したい音声ファイルを選択する  
複数の音声ファイルを選ぶこともできます。  
複数の音声ファイルやフォルダを同時に選択するには
  - ・連続する音声ファイル/フォルダを選択する場合は、最初のファイルでクリック、最後のファイルをShiftキーを押しながらクリックしてください。
  - ・離れた位置にある音声ファイル/フォルダを選択する時は、Ctrlキーを押しながらファイルをクリックしてください。
- 4  (ファイル転送) をクリックする  
ファイル転送ダイアログボックスが開きます。

次ページへ続く▶▶



5 保存先のドライブとサブフォルダを右側のウィンドウで選択する

6 [コピー] (元ファイルを残す)か、[移動] (元ファイルを削除)を選択する  
ラジオボタンをクリックしてマークを入れます。

7 => (右矢印) をクリックする  
右側のウィンドウにファイルが追加されます。

8 [閉じる] をクリックする

- 任意のドライブ / サブフォルダに切り換えて相互に音声ファイルのコピー / 移動を行うことができます。
- 右のウィンドウのファイルを選択すると、左向きに矢印が変わります。選択ドライブの空き容量が表示されます。

### お知らせ

- 選択したドライブにSD\_VOICEフォルダがない場合は、SD\_VOICEフォルダとサブフォルダSD\_VC001を作成し、そこに保存します。
- 選択したドライブにSD\_VOICEフォルダが存在し、その中にサブフォルダがない場合は、サブフォルダSD\_VC001を作成し、そこに保存します。
- LPモードでのファイル転送時には、ハードディスクドライブの空き容量によっては、最終まで転送できないことがあります。

次ページへ続く ▶▶



# バックアップとリストア


## サブフォルダ単位で保存する (ファイル転送)

ICレコーダー、SDメモリーカード内のフォルダごと、音声ファイル (VM1ファイル) をパソコンのハードディスクに保存することができます。

複数のハードディスクドライブがある場合は、別のハードディスクドライブにも保存できます。



- 1 サブフォルダ一覧表示部でサブフォルダを選択する  
複数のサブフォルダを、同時に選択してファイル転送することはできません。

- 2  (ファイル転送) をクリックする  
ファイル転送ダイアログが開きます。

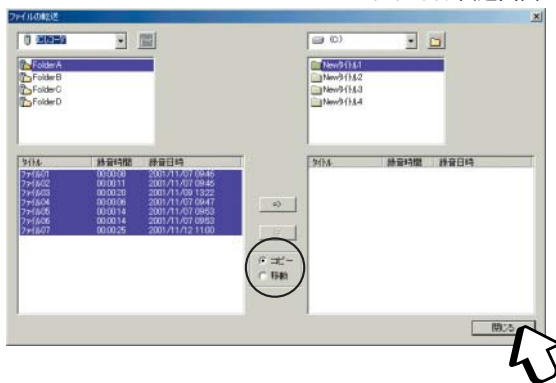
- 3 保存先のドライブとフォルダを、右側のウインドウで選択する

- 4 [コピー] (元ファイルを残す) か、[移動] (元ファイルを削除) を選択する  
ラジオボタンをクリックしてマークを入れます。

- 5 => (右矢印) をクリックする  
右側のウインドウにファイルが追加されます。

- 6 [閉じる] をクリックする
  - 任意のドライブ/サブフォルダに切り換えて相互に音声ファイルのコピー/移動を行うことができます。
  - 右のウインドウのファイルを選択すると、左向きに矢印が変わります。選択ドライブの空き容量が表示されます。

ファイル転送画面



# バックアップとリストア

## バックアップ


通常使用するサブフォルダ以外に保存する（バックアップ）

通常使用するフォルダは、ルートディレクトリのSD\_VOICEフォルダに初期設定で4個作成されています。最高9個まで作成することができますが、音声ファイルが一杯になった時または、他の階層やフォルダに音声ファイルを保存したい時は、バックアップ機能にて任意の場所に音声ファイルを保存することができます。

その場合は保存した音声ファイルは、メイン画面のファイル表示一覧表で見ることができません。

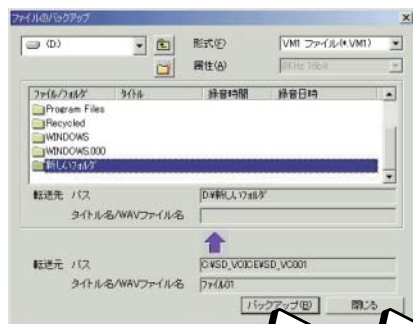


① 音声ファイル一覧から保存したい音声ファイルを選択する

②  (バックアップ) をクリックする  
ファイルのバックアップダイアログが開きます。

③ 保存先のドライブとフォルダを選択する  
新しくフォルダを作ることもできます。

④ [バックアップ (B)] をクリックする  
SD\_VOICEフォルダ以外のフォルダを選択した時はSD\_VOICE¥VC\_001フォルダが作成され、そこに保存されます。



⑤ [閉じる] をクリックする

次ページへ続く▶▶

# バックアップとリストア

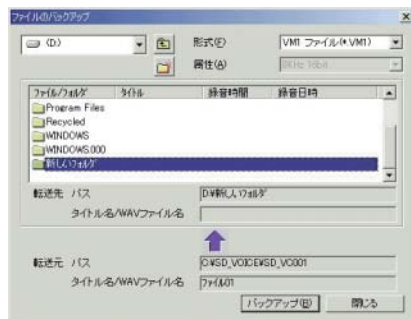
## ファイル形式を指定して保存する（バックアップ）

「バックアップおよびファイル形式の変換」

バックアップダイアログボックスの中のファイル変換ボックスでファイル形式を指定します。

ICレコーダーやSDメモリーカード内の音声ファイルをハードディスクに保存する場合、通常はVM1ファイル形式で保存されます。また、WAVEファイル形式を選択して保存することもできます。

ただし、Voice Editor 2で再生、編集できるのはVM1ファイルだけです。



VM1ファイル形式をWAVEファイル形式に変換する場合は、それぞれの録音モードごとに対応した属性を選択してください。

VM1ファイル	変換	WAV形式
LPモード	▶	8kHz/16bitまたは8kHz/8bit
SPモード	▶	8kHz/16bitまたは8kHz/8bit
HQモード	▶	11kHz/16bit、11kHz/8bit 16kHz/16bit、16kHz/8bit 22kHz/16bit、22kHz/8bitのいずれか

### お知らせ

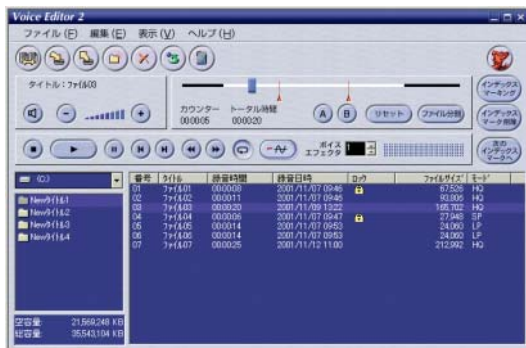
- ・ VM1ファイル以外のファイル形式に変換する場合は保存先をSD\_VOICEフォルダ以外の場所に指定してください。
- ・ LPモードのVM1ファイルをWAV形式に変換して保存し、さらにVoice Editor 2で開いた（VM1形式に変換した）場合はモードがSPになります。

# バックアップとリストア


## リストア

### 音声ファイルを取り込む（リストア）

バックアップで違う階層に保存した音声ファイルを再び、Voice Editor 2のメイン画面に表示させるとき、またはWAVEファイルを、Voice Editor 2やICレコーダーで再生するためにVM1ファイルに変換するときには、リストア機能を使って、ルートディレクトリにあるSD\_VOICEサブフォルダに読み出す必要があります。



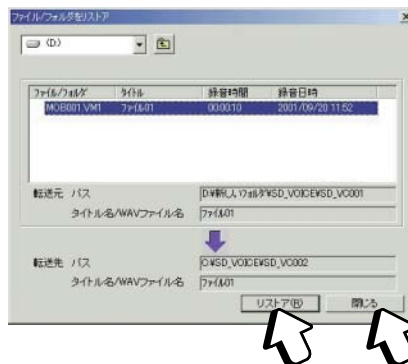
① メイン画面で、取り込みたいドライブとフォルダを選択する

②  (リストア) をクリックする  
リストアダイアログが開きます。

③ ドライブを選択し、フォルダとファイルを選択する  
フォルダだけを選択すると、フォルダ内の音声ファイル全てを取り込みます。

④ [リストア (R)] をクリックする

⑤ [閉じる] をクリックする



# ICレコーダーやSDメモリーカードに音声ファイルを追加する

## 音声ファイル単位で追加する

パソコンのハードディスクに保存した音声ファイルは、ICレコーダーやSDメモリーカードに追加することができます。

- 1 パソコンのハードディスクドライブを選択する
- 2 サブフォルダを開き、音声ファイル一覧を表示する
- 3 一覧表示部に表示されている音声ファイルから、ICレコーダーやSDメモリーカードに保存したい音声ファイルを選択する



複数の音声ファイルを選ぶこともできます。

( 複数の音声ファイルやフォルダを同時に選択するには)

- 4 (ファイル転送) をクリックする  
ファイル転送ダイアログボックスが表示されます。

ファイル転送画面

- 5 保存先にICレコーダーやSDメモリーカードドライブのサブフォルダを選択する

- 6 [コピー] (元ファイルを残す) か、[移動] (元ファイルを削除) を選択する

ラジオボタンをクリックしてマークを入れます。



- 7 (左矢印) をクリックする  
左側のウィンドウにファイルが追加されます。

- 8 [閉じる] をクリックする

- ・ 任意のドライブやサブフォルダに切り換えて相互に音声ファイルのコピー / 移動を行うことができます。
- ・ 左のウィンドウのファイルを選択すると、右向きに矢印が変わります。

次ページへ続く ▶▶


# ICレコーダーやSDメモリーカードに音声ファイルを追加する

## サブフォルダ単位で追加する

1 パソコンのハードディスクドライブを選択する

2 サブフォルダ一覧表示部でサブフォルダを選択する

複数のサブフォルダを同時に選択することはできません。


3  (ファイル転送) をクリックする

ファイル転送ダイアログボックスが開きます。

4 保存先にICレコーダーやSDメモリーカードドライブとフォルダを選択する

5 [コピー] (元ファイルを残す) か、[移動] (元ファイルを削除) を選択する

ラジオボタンをクリックしてマークを入れます。

6  (左矢印) をクリックする

左側のウインドウにファイルが追加されます。

7 [閉じる] をクリックする

- 任意のドライブやサブフォルダに切り換えて相互に音声ファイルの保存や移動を行うことができます。
- 左のウインドウのファイルを選択すると、右向きに矢印が変わります。



ファイル転送画面



# 音声ファイルやフォルダの編集

## 編集の概要

ICレコーダーやSDメモリーカード内の音声ファイル（VM1ファイル）やサブフォルダを編集することができます。

ICレコーダーやSDメモリーカードに録音された音声ファイル（VM1ファイル）を、パソコン上で順番を移動させたり、削除したりできるほか、音声ファイルやサブフォルダのタイトルの変更、音声ファイルのソート、新しいサブフォルダの作成が可能です。

### ■ 機能一覧

- ・音声ファイルの保存、移動
- ・音声ファイルやサブフォルダの削除
- ・新しいサブフォルダの作成
- ・音声ファイルの順番の並べ替え(ソート)
- ・音声ファイルやサブフォルダのタイトルの変更
- ・音声ファイルの分割
- ・ファイルロック機能

## 音声ファイルを移動する

音声ファイルをサブフォルダ内で移動して順番を変えたり、他のサブフォルダに移動したりできます。

### ■ 音声ファイルを同じサブフォルダ内で移動する

音声ファイル一覧表示部で移動したい音声ファイルを1つクリックして選び、そのまま移動したい位置にドラッグアンドドロップします。

移動後、音声ファイル番号が上から順番に振り直されます。


### ■ 音声ファイルを別のサブフォルダに移動する

音声ファイル一覧表示部で移動したい音声ファイルをクリックして選び、そのままサブフォルダ一覧表示部の移動したいサブフォルダ上に重ねてドラッグアンドドロップします。

移動した音声ファイルは移動先サブフォルダの最後に追加されます。


移動後、移動元のサブフォルダでは音声ファイル番号が上から順番に振り直されます。

### お知らせ


- ・複数の音声ファイルを同時に選択することもできます。  
( 複数の音声ファイルやフォルダを選択するには)

### 音声ファイルやサブフォルダを削除する

#### 音声ファイルを削除する

- 1 音声ファイル一覧表示部で削除したい音声ファイルを選択する  
複数の音声ファイルを同時に選択することもできます。  
( 複数の音声ファイルやフォルダを同時に選択するには)

- 2 次のいずれかの操作を行う


- ・ ツールバーの  (ファイル/フォルダ削除) をクリックする
- ・ キーボードの [ Delete ] キーを押す
- ・ 右クリックしてポップアップメニューから「ファイル削除」を選ぶ
- ・ 「ファイル」メニューから「ファイル削除」を選ぶ

確認のダイアログボックスが表示されます。


- 3 削除してよい場合は [ はい ] をクリックする  
削除をやめるときは [ いいえ ] をクリックする

[はい]をクリックすると、選択した音声ファイルが削除され、それ以外の音声ファイルの番号が振り直されます。

#### サブフォルダを削除する

- 1 サブフォルダ一覧表示部で削除したいサブフォルダを選択する  
複数のサブフォルダを同時に選択することもできます。  
( 複数の音声ファイルやフォルダを同時に選択するには)

- 2 次のいずれかの操作を行う

- ・ ツールバーの  (ファイル/フォルダ削除) をクリックする
- ・ キーボードの [ Delete ] キーを押す
- ・ 右クリックしてポップアップメニューから「フォルダ削除」を選ぶ
- ・ 「ファイル」メニューから「フォルダ」「フォルダの削除」を選ぶ

確認のダイアログボックスが表示されます。

- 3 削除してよい場合は [ はい ] をクリックする  
削除をやめるときは [ いいえ ] をクリックする


[はい]をクリックすると、選択したフォルダが削除されます。



## 音声ファイルやフォルダの編集

### 新しいサブフォルダを作る

次のいずれかの操作でSD\_VOICEフォルダ内に新しいサブフォルダを作ることができます。

- ・ ツールバーの  [フォルダの新規作成] をクリックする
- ・ 「ファイル」メニューで「フォルダ」→「フォルダ作成」を選ぶ
- ・ サブフォルダ一覧表示部で右クリックして、ポップアップメニューから「新規フォルダの作成」を選ぶ

### 音声ファイルをソートする

音声ファイル一覧表示部上の項目欄の各ボタンをクリックすると、一覧表示部内の音声ファイルが、選んだボタンの項目順に並べ替えられます。

並び替わると、音声ファイル番号が振り直され、SDメモリーカード内の音声ファイルも並び替えられます。

編集メニューの「ソート」を使っても同じ操作ができます。

項目	メニュー	機能
タイトル	- 「タイトル順 ( T )」	数字、アルファベット、50音順、漢字コード順
録音時間	- 「録音時間順 ( M )」	録音時間の短い順、長い順
録音日時	- 「録音日時順 ( D )」	録音年月日の古い順、新しい順
ファイルロック	- 「ファイルロック順 ( L )」	ファイルロックされている、いないの順
ファイルサイズ	- 「ファイルサイズ順 ( S )」	ファイルサイズの大きい順、小さい順
モード順	- 「モード順 ( E )」	ファイルのHQ、LP、SPのアルファベット順

それぞれもう一度同じボタンをクリックすると現在の順番と逆の順番に並び替えられます。

## 音声ファイルやフォルダの編集

### 音声ファイルやサブフォルダのタイトルを変更する

音声ファイルやサブフォルダのタイトルは初期状態でファイル名またはフォルダ名が自動的につけられていますが、新しいタイトルに変更することができます。

(  表示設定 )

#### 音声ファイルタイトルの変更

- 1 [表示]メニューからカナ表示または、漢字表示を選択する
  - ・カナ表示の場合は、半角カナ、半角英数のみ入力できます。
  - 漢字表示の場合は全角半角すべて入力できます。
- 2 音声ファイル一覧表示部でタイトルを変更したい音声ファイルを選択する
- 3 次のいずれかの方法でタイトルを変更できる状態にする
  - ・音声ファイルを右クリックし、ポップアップメニューから「ファイルタイトルの変更」をクリックする
  - ・「ファイル」メニューから「ファイルタイトルの変更」をクリックするタイトル部分が入力できる状態になります。
- 4 新しいタイトルを入力する  
音声ファイルタイトルは全角で100文字（半角で200文字）まで入力できます。
- 5 [Enter] をクリックする  
新しいタイトルを入力しない(設定しない)場合はファイル名がタイトルになります。

次ページへ続く ▶▶

# 音声ファイルやフォルダの編集

## サブフォルダタイトルの変更

- 1** [表示]メニューからカナ表示または、漢字表示を選択する
  - ・カナ表示の場合は、半角カナ、半角英数のみ入力できます。
  - ・漢字表示の場合は全角半角すべて入力できます。
- 2** サブフォルダ一覧表示部でタイトルを変更したいサブフォルダを選択する
- 3** 次のいずれかの方法でタイトルを変更できる状態にする
  - ・サブフォルダを右クリックし、ポップアップメニューから「フォルダタイトルの変更」をクリックする。
  - ・「ファイル」メニューから「フォルダ」「フォルダタイトルの変更」をクリックする。サブフォルダのタイトル部分が入力できる状態になります
- 4** 新しいタイトルを入力する  
フォルダタイトルは全角で16文字（半角で32文字）まで入力できます。
- 5** [Enter] をクリックする  
新しいタイトルを入力しない(設定しない)場合はフォルダ名がタイトルになります。

### お知らせ

#### ファイルやフォルダタイトルの制限

ファイルタイトルにはカナ表示と漢字表示の2つの属性があります。

つまり、一つの音声ファイルに2つのタイトルを持たせることができます。

ファイルやフォルダのタイトルを変更する場合、表示メニューで「漢字表示」を選択している時は全角半角英数全ての組み合わせでタイトルを入力することができますが、「カナ表示」を選択している時は、入力できるのは半角英数、半角カナ文字（JISXD201のキャラクターセット）のみです。

ファイルのタイトルは、全角で100文字まで、半角で200文字まで入力できます。

ただし、カナ表示、漢字表示2つのモードでのタイトル入力文字数の合計は、各タイトルの文字数を半角に換算して250文字までとなっています。（全角1文字を半角2文字と数えます）

## 音声ファイルやフォルダの編集

### 音声ファイルを分割する

1つの音声ファイルを2つの音声ファイルに分割することができます。

#### 再生中に分割する

- 1 分割する音声ファイルを再生する
- 2 分割したいときに、**ファイル分割** をクリックする  
再生ポーズ状態となり、ダイアログボックスが表示されます。
- 3 分割するときは [ はい ] を、  
分割しない時は [ いいえ ] をクリックする

#### 分割位置を決めてから分割する

- 1 分割するファイルを選択する
- 2 スライダーつまみを分割する位置まで移動させる
- 3 **ファイル分割** をクリックする  
ダイアログボックスが表示されます。
- 4 分割するときは [ はい ] を、  
分割しない時は [ いいえ ] をクリックする

やり直しする場合、**元に戻す** をクリックすると、分割前の状態にもどります。



# 音声ファイルやフォルダの編集

## ファイルロック機能

大切な音声ファイルを消してしまったり、編集したりできないようにすることができます。ファイルロックが指定されている音声ファイルは、

- ・タイトルの変更と分割
- ・インデックスの付加と削除
- ・音声ファイルの削除

ができません。ファイルロックを解除してからおこなってください。

## ファイルをロックする

- 1 音声ファイル一覧表示部で音声ファイルを選択する
- 2 「編集」メニューで「ファイルロック」をクリックする  
音声ファイル一覧表示部でロックした音声ファイルにロックマークが付きま

## ファイルのロックを解除する

- 1 音声ファイル一覧表示部でファイルロックされている音声ファイルを選択する
- 2 「編集」メニューで「ファイルロック解除」をクリックする  
音声ファイル一覧表示部で、ロックされていた音声ファイルのロックマークが消えます。

### お知らせ

- ・音声ファイルの右クリックでプルダウンメニューを開き、「ファイルロック」「ファイルロックの解除」をクリックしても、ロック/ロック解除ができます。

# インデックス機能

音声ファイルの任意の箇所、インデックスマークを付加したり削除することができます。インデックスマークを付加すると、素早く聞きたい所から聞くことができます。ひとつの音声ファイルには16ヶ所まで、インデックスを付加できます。



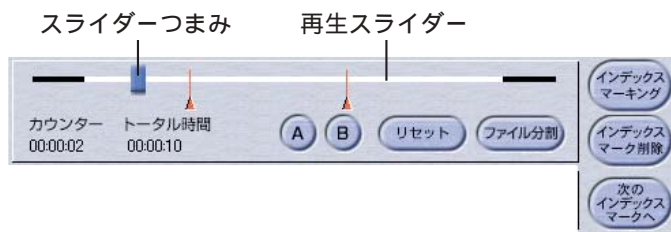
インデックス機能は、Voice Editor 2上でのみ使用できる機能です。ICレコーダーでインデックスの付加、削除、頭出しをすることはできません。パソコン上でインデックスを付けたファイルをICレコーダーに転送するとインデックスマークは削除されます。(SDメモリーカードにはインデックスマークの情報は保存されています)

## お知らせ

- ・インデックスマークの間隔は、最短1秒です。

# インデックス機能

## インデックス機能を使う



### インデックスを付加する

- 1 再生する音声ファイルを選択する
- 2 音声ファイルを再生し、カウンターでインデックスを付加するポイントを確認する
- 3 再生中に、付加したいポイントで **インデックスマーキング** をクリックする  
スライダーつまみを付加したいポイントにドラッグし、**インデックスマーク削除** をクリックしても付加できます。

### インデックスを削除する

- 1 音声ファイルを再生し、消したいインデックスマークを確認する
- 2 スライダーつまみをインデックスマークの上にドラッグし、**インデックスマーク削除** をクリックする

### 聞きたい所を探す

- 1 音声ファイルを再生する
- 2 再生中に、**次のインデックスマークへ** をクリックする

# 音声認識ソフト

## 音声認識ソフトとの連携

ICレコーダーで録音した音声ファイル（\*.VM1）を、WAVE（\*.WAV）ファイルに変換し、音声認識ソフトに転送して、音声認識ソフトによりテキストファイルに変換することができます。

### お知らせ

- ・音声認識ソフト ドラゴンスピーチ・セレクト バージョン6.0以上をインストールしておく必要があります。（別売）
- ・あらかじめ音声認識ソフト側で、音声ファイル変換のための「トレーニング」をしておく必要があります。

詳細は、音声認識ソフトの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。

## トレーニング

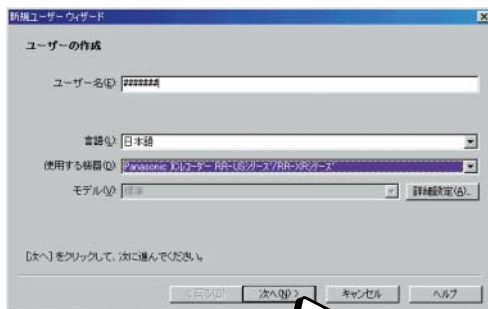
1 ドラゴンスピーチを起動する

2 メニュー [ DragonSpeech ] - [ ツール ( A ) ] - [ ユーザーの管理 ( M ) ] を選択する

「ユーザーの管理」画面で「新規 ( N )」をクリックすると新規ユーザーウィザードが始まります。



3 -1 ユーザー名を入力する  
-2 使用する機器 ( D ) で「Panasonic ICレコーダー RR-USシリーズ / RR-XRシリーズ」を選択する

4 [ 次へ ( N ) ] をクリックする  
トレーニングテキストのリストが表示されます。




次ページへ続く ▶▶



- 5 3つのトレーニングテキストから一つを選択し、ICレコーダーで録音する
  - ・録音方法はICレコーダー本体の取扱説明書をご覧ください。
  - ・録音モードは、HQに設定してください。
  - ・トレーニングのためには、15分以上録音する必要があります。
  - ・録音開始前に、ICレコーダーに録音可能な空き容量があるか、ご確認ください。
  
- 6 [次へ(N)] をクリックする  
新規ユーザーウィザード画面が表示されます。
  
- 7 [Panasonic Voice Editor] をクリックする  
Voice Editor 2が起動し、次の手順を示すガイドの画面も表示されます。
  
- 8 トレーニングテキストを録音したICレコーダーやSDメモリーカードを、パソコンに接続する  
( 本体取扱説明書)
  
- 9 Voice Editor 2でトレーニングテキストの音声ファイルを指定し、 (音声テキスト変換) をクリックする  
音声ファイルが、ドラゴンスピーチに転送されます。  
[OK] をクリックするとVoice Editor 2が閉じ、新規ユーザーウィザードに戻ります。
  
- 10 [次へ(N)] をクリックする  
録音の確認を行います。
  
- 11 [次へ(N)] をクリックする
  - ・トレーニングが開始します。
  - ・トレーニングには1時間程度かかる場合があります。
  
- 12 新規ユーザーウィザードを終了する

## 音声ファイルのテキスト変換

- 1 メイン画面で、テキスト変換したい音声ファイルを選ぶ
- 2  (音声テキスト変換) を押す
  - ・音声ファイル ( \*.VM1 ) が、WAVE ( \*.WAV ) ファイルに自動的に変換され、音声認識ソフトに転送されます。
  - ・「ドラゴンスピーチ」が起動します。
- 3 ICレコーダー用に作成したユーザーを選択する

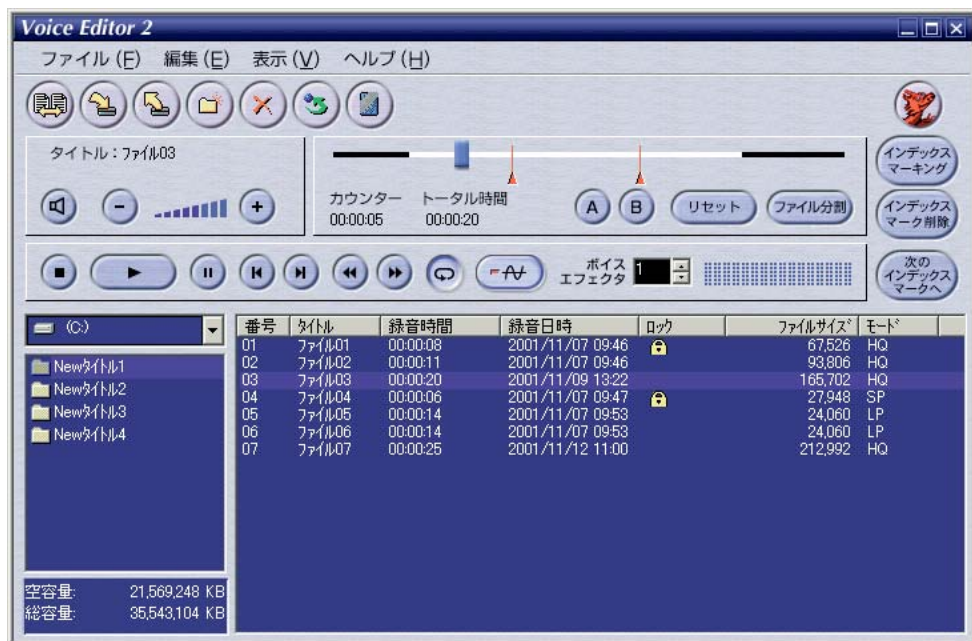
### お知らせ

- ・ドラゴンスピーチの操作方法の詳細は、ドラゴンスピーチのクイックスタートやヘルプをご覧ください。

# メイン画面各部の名称とはたらき

## メイン画面

Voice Editor 2を起動すると、以下のメイン画面が表示されます。  
この画面上で、音声ファイルの保存、編集、再生などをおこないます。



## プレーヤー部

音声ファイルの再生操作ができます。また、再生中の状態を表示します。  
インデックスマークを付けたたり、削除したり、ファイルを分割するなどの編集機能の一部もここで操作します。



# メイン画面各部の名称とはたらき

## メニュー









コマンドがプルダウンメニューに表示されます。



## 操作ボタン

各ボタンにポインターを合わせると、名称が表示されます。各ボタンをクリックして操作します。

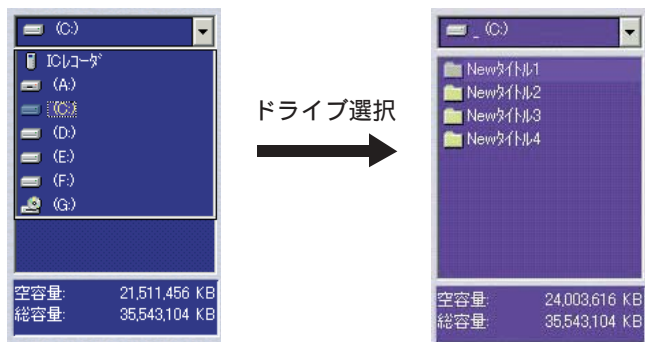


ボタン	機能
	ICレコーダーやSDメモリーカードからハードディスクドライブなどに、音声ファイルを転送します。
	音声ファイルを、バックアップします。
	ファイル/フォルダをリストアします。
	フォルダの新規作成。
	削除する。
	元に戻す。
	ICレコーダーを初期化します。
	音声ファイルのテキスト変換 (ドラゴンスピーチを起動します。)

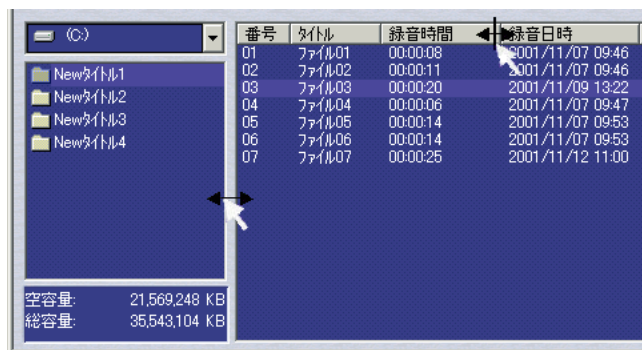
## メイン画面各部の名称とはたらき

### ドライブボックス / サブフォルダ表示部

ドライブボックスから表示したいドライブを選択します。  
選択したドライブ内のサブフォルダが、一覧表示されます。  
サブフォルダのタイトルが長い時は、サブフォルダ一覧表示部の幅を拡張できます。



ドライブボックスやサブフォルダ表示部の幅を変更するには  
ポインタを変更したい境界線上に移動すると、境界線を移動できるマークに  
切り替わりますので、任意の幅にドラッグしてください。



## メイン画面各部の名称とはたらき

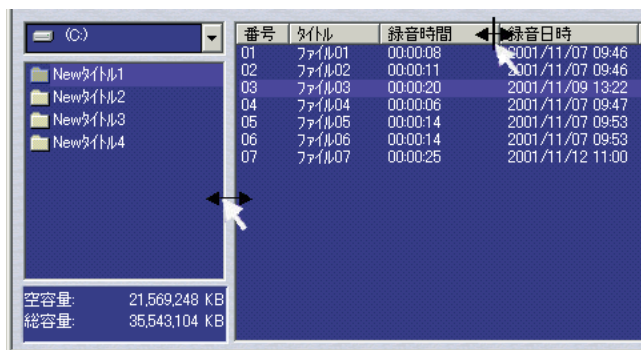
### 音声ファイル一覧表示部

選択されたフォルダ内の音声ファイル一覧が、番号、タイトル、録音時間、録音日時、ファイルロック、ファイルサイズ、モード（HQ/LP/SP）の項目と共に表示されます。音声ファイルのタイトルが長い時など、項目表示の幅を変更することができます。

番号	タイトル	録音時間	録音日時	ロック	ファイルサイズ	モード
01	ファイル01	00:00:08	2001/11/07 09:46	🔒	67,526	HQ
02	ファイル02	00:00:11	2001/11/07 09:46		93,806	HQ
03	ファイル03	00:00:20	2001/11/09 13:22		165,702	HQ
04	ファイル04	00:00:06	2001/11/07 09:47	🔒	27,948	SP
05	ファイル05	00:00:14	2001/11/07 09:53		24,060	LP
06	ファイル06	00:00:14	2001/11/07 09:53		24,060	LP
07	ファイル07	00:00:25	2001/11/12 11:00		212,992	HQ

項目表示の幅を変更するには

下図のようにポインタを変更したい境界線上に移動すると、境界線を移動できるマークに切り替わりますので、任意の幅にドラッグしてください。



## メイン画面各部の名称とはたらき

### 管理ファイル

サブフォルダには、以下の2つの管理ファイルが常に保存されます。

SD\_VOICE.PLM （プレイリストマネージャーファイル）

サブフォルダ内の情報を管理するファイル

SD\_VOICE.TKM （トラックマネージャーファイル）

サブフォルダ内の全音声ファイルの情報を管理するファイル

これらの管理ファイルは、Voice Editorの画面上で見えることはできませんが、サブフォルダを追加、削除した場合、また音声ファイルを編集、追加、削除した場合などは、これらの管理ファイルも合わせて更新、保存されます。

サブフォルダに含まれるファイルは次の3種類です。

- ・ MOBxxx.VM1：ICレコーダーで録音される音声データのファイル
- ・ SD\_VOICE.PLM：サブフォルダの情報を管理するファイル
- ・ SD\_VOICE.TKM：サブフォルダ内の全音声ファイルの情報を管理するファイル

#### お知らせ

- ・ エクスプローラー上で、VM1ファイルの追加や削除を行った場合は、管理ファイルが更新されませんのでご注意ください。
- ・ 管理ファイルをエクスプローラー上で削除すると、そのサブフォルダ内の音声ファイルは、Voice Editor 2の音声ファイル一覧表示部に表示されなくなります。

## 故障かな!?と思ったら

症 状	原因・対策
インストールできない	・ハードディスクの空き容量が少ない可能性があります。 容量を確認してください。
音声ファイルが再生できない	・サウンドボードがついていない( 3 ページ ) ・パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていない。
再生音量が小さい	・パソコン側で音量を上げてみてください。( 詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください )
再生時に音飛びする	・再生中はWindowsや他のアプリケーションを操作しないでください。
音声ファイルの保存・追加・削除中に画面が動かなくなる	・録音時間の長い音声ファイルの場合、コピーまたは削除に時間がかかります。 コピーまたは削除が終了するまでお待ちください。 通常の操作ができるようになります。

### お 願 い

パソコンにインストールしているサウンドボードのドライバソフトは、最新のバージョンをご使用ください。



# エラーメッセージ一覧


オンラインヘルプをご覧ください。

## 本ソフトウェアに関するお問い合わせ先

### 使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル/パナソニック お客様ご相談センター

365日 / 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**

携帯電話・PHSでのご利用は... **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

### Help desk for foreign residents in Japan

外国人/海外仕様商品（観光商品他）等ご相談窓口

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

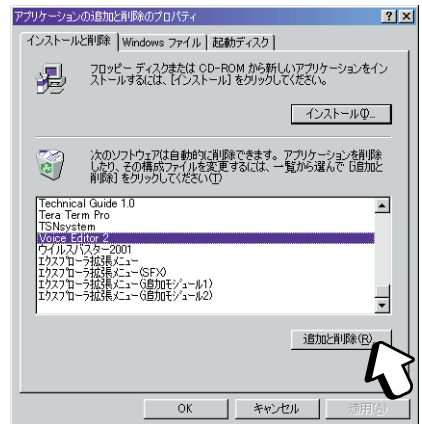
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ホームページもご覧ください。 <http://panasonic.jp/audio/ic/>

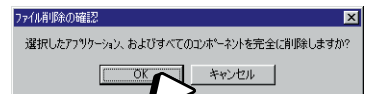
# アンインストールする

Voice Editor 2が不要になった場合は、以下の手順で削除してください。

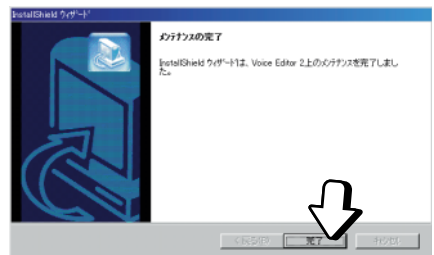
- 1 「スタート」メニューで、「設定」「コントロールパネル」を順に選ぶ
- 2 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする  
アプリケーションの追加と削除のプロパティ画面が表示されます。
- 3 [インストールと削除] タブをクリックする
- 4 [Voice Editor 2]をクリックし、  
[追加と削除]をクリックする  
削除の確認画面が表示されます。



- 5 [OK] をクリックする  
Voice Editor 2が削除されます。



- 6 [完了] をクリックする



## お願い

このソフトウェアを一度インストールしたあと、別のドライブまたはフォルダに移動させる場合は、アンインストールしてから再度インストールを行ってください。  
ファイルを移動しただけでは、ソフトウェアは動作しなくなります。

# 表示設定

## 漢字表示とカナ表示

サブフォルダ及び音声ファイルのタイトルの表示は、漢字表示モードとカナ表示モードの切り替えができます。

漢字表示にするには、[表示] [漢字表示]をクリックして選択します。

カナ表示にするには、[表示] [カナ表示]をクリックして選択します。

初期設定は、カナ表示モードになっています。

### 扱える文字

漢字モード：パソコンのみ JIS第一水準、JIS第二水準 (Shift JIS)

カナモード：パソコン及び一部のICレコーダー JISX0201

### お知らせ

- ・音声ファイルタイトルまたはフォルダタイトルは、Voice Editor 2表示専用です。
- ・Windowsのエクスプローラでのフォルダ名とは異なりますのでご注意ください。
- ・ICレコーダーには、ファイルタイトル、フォルダタイトルを表示することができるモデルがありますが、表示出来ない文字を入力した場合は、ICレコーダーの表示窓では文字化けすることがあります。

- ・本製品、およびパソコンの不具合により、録音ができない場合や音声データが破損した場合などのデータの補償についてはご容赦ください。
- ・本製品、および本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
- ・本書では、OSがWindows 98SEのときに表示される操作画面例を使用しています。また、本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

- ・Microsoftとそのロゴ、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- ・Pentium、MMXは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- ・Sound Blaster 16 は、米国クリエイティブ・テクノロジー社の商標です。
- ・IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- ・Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- ・Dragon Systems、L&H、Dragon Systemsのロゴ、L&Hのロゴ、BestMatch、DragonSpeech、およびSelect-and-Sayは、L&Hの登録商標および商標です。
- ・Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Acrobat Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- ・その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

## 松下電器産業株式会社 ネットワーク事業グループ

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2003

RQT6360-S  
MS0102SF1043